

# 主体的・対話的で深い学びの 進め方が見える・わかる

## 主体的・対話的で深い学びを実現する三つのステップ

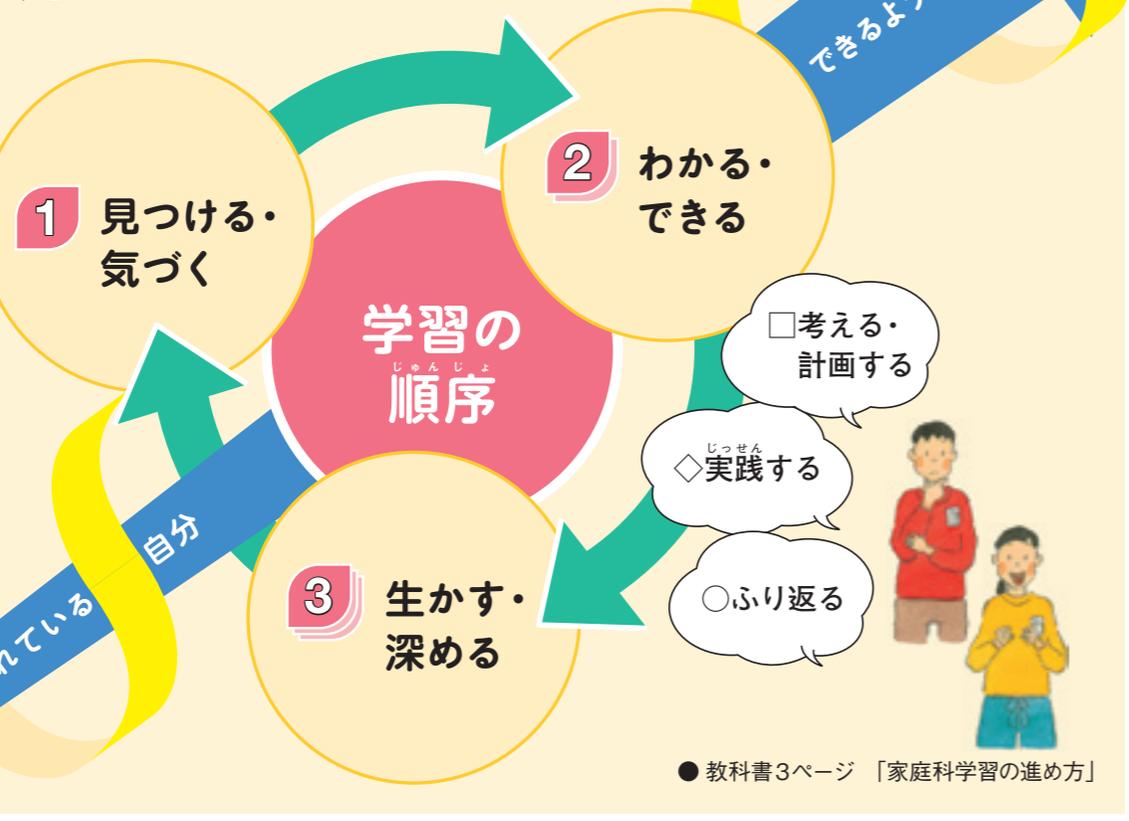
家庭科での主体的・対話的で深い学びは、生活を「自分のこと」としてとらえる意識が核になるものと考えられます。そのために、自分自身の「生活」を見つめるこ

とを出発点として、わかり、できるようになり、身につけた知識・技能を自らの「生活」に生かし、深めていく、という学習過程の三つのステップに着目しました。

教科書では、家庭科学習の進め方をこの三つのステップを基本としています。

## 家庭科学習の進め方

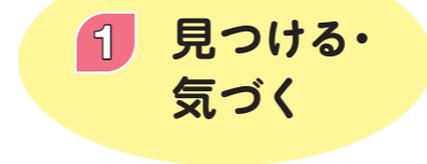
ー成長していくためにー



## 三つのステップで題材を構成

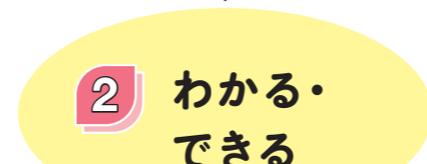
(題材例：ソーイング はじめの一步)

(ア)



### 1 なぜぬうのだろう

身近な布製品を見つめ、「ぬう」ことの意味と生活への役割への気づきに意識を向けていきます。



### 2 どのような用具や方法でぬうのだろう

「ぬう」ための用具やぬい方を、基礎・基本を大切に学んでいきます。

(イ)



### 3 手ぬいを生活に生かそう

わかり、できるようになった手ぬいの知識や技能を自分の生活への工夫と結びつけ、生かしていきます。

主に(ア)「1 見つける・気づく」と「2 わかる・できる」は新学習指導要領の指導項目アに、(イ)「3 生かす・深める」は指導項目イの内容で構成しています。

## 主体的・対話的で 深い学びを促す 「フォトランゲージ」

生活のさまざまな場面を想起させたり、着目させたりする写真やイラストを、扉ページに掲載。生活を見つめ、問題に気づく導入の学習へご活用いただけます。



●教科書112ページ



●教科書104ページ

## 8 生活を支える お金と物



●教科書58・59ページ

## 4 整理・ 整とんで 快適に



●教科書28ページ